

(写)

## 若者の県内定着に向けて

教職員の皆様には、岩手の教育を支えていただいておりますことに、改めて、感謝申し上げます。

本県の高校生は、地域に育てられ、地域の良さを知り、人の温かさを感じながら、岩手の未来を担う人材として確実に育っています。

そこで、来春卒業予定の高校生に対する求人情報が7月1日に解禁されるに当たり、教職員の皆様に、以下のとおり若者の県内定着への御理解と取組をお願いしたいと考えております。

近年、少子・高齢化の進行や若者人口の社会減に伴う生産年齢人口の減少等により、全国的に人手不足が恒常化しており、労働力の確保や若者の県内定着が大きな問題となっております。本県もその例外ではなく、如何に人口減少をくい止め労働力を確保しふるさと振興を図っていくかという課題に産業界、教育関係者、関係機関が課題認識を共有し、オール岩手の体制で、連携しながら取り組んでいくことが必要だとの認識の下、いわてで働こう推進協議会を設置し県内就業の促進に向けた取組を展開しております。特に今年度は、県内企業の認知度向上、企業の魅力発信と雇用の質の向上などを図る取組を進めております。

一方で、同推進協議会が平成29年1月に行った「岩手県の若年者雇用動向調査」によると、本県出身者の地元志向は強いものの、高校生の県内企業に対する理解が十分でないこと、高校生の就職先決定にあたっては学校関係者の与える影響が大きいことなどが明らかになりました。

また、本県では、長きにわたり優秀な人材を首都圏などに送り出し日本の発展を支えてきた歴史もあります。不景気の影響で県内の就職状況が厳しい時期に生徒を採用していただいた企業も少なくなく、それが縁で今でも採用を続けていただいております。

そのような状況を考慮しながらも、本県における労働者不足を解決し将来にわたり本県の発展を持続可能なものとするには、関係者に課せられた喫緊の課題と考えます。

つきましては、以上の状況について、教職員の皆様の御理解をいただいた上で、次に挙げる事項について、生徒、保護者の皆様に御理解いただくための取組を図っていただくよう是非ともお願いいたします。併せて、「いわての復興教育」や地域の歴史、伝統文化に関する学習などを通して、生徒が本県にルーツを持つことに誇りを持ち、将来にわたって本県との繋がりを持つような意識の醸成に努めていただくようお願いいたします。

- 1 就職を検討する際は、まずは、本県への就職を検討していただきたいこと。県外の企業への就職を考えている場合でも、本県の状況を理解した上で検討していただきたいこと。
- 2 県外に進学する場合でも、就職を検討する際は、まずは、本県への就職を検討していただきたいこと。県外に就職を希望する場合でも、本県の発展に貢献する意識を持っていただきたいこと。
- 3 本県にも魅力ある企業が多数あり、労働環境や処遇改善にも努めていることを御理解いただき、県内企業や本県で暮らすことへの関心を高めていただきたいこと。
- 4 本県では、大型企業の誘致に伴う企業集積が進んでおり、首都圏に出なくても本県で就職できる時代の流れになっていることを御理解いただきたいこと。
- 5 本県の人口減少に歯止めをかけ、県全体でふるさと岩手を守っていかなければならないことを御理解いただきたいこと。
- 6 若者は県民にとって宝であり、若い力が岩手の力になることを御理解いただきたいこと。

平成 30 年 6 月 22 日

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行